

町営住宅入居者募集

令和7年度 第4回町営住宅入居者募集について次のとおりお知らせします。

募集期間

2月9日(月)～2月27日(金)

募集団地

- ・第1内池団地(内池150番地)平成14年築木造2階建 3DK
- ・第2内池団地(内池152番地)昭和63年築(PC造3階建) 3DK
- ・西山団地(豊田205番地23)昭和60年築(PC造2階建) 3D

入居資格

- 次の①～⑦すべてに該当する方
- ①町内に居住しているまたは勤務地を有していること(3か月以上)
- ②持ち家(共有名義を含む)がなく、住宅に困窮していること
- ③税・公共料金を滞納していないこと
- ④現に同居し、または同居しようとする親族がいること

※ただし、次の(1)～(6)のいずれかに該当する方は単身でも入居できます。

- (1)生活保護を受けている方
- (2)60歳以上の方
- (3)身体障がい者でその障がいの程度が1級から4級までの方

- (4)精神障がい者でその障がいの程度が1級から3級までの方
- (5)知的障がい者でその障がいの程度が精神障がいの程度に相当する方
- (6)DV被害者に該当する方
- (7)1か月あたりの収入が定められた基準以下であること
- (8)連帯保証人(2名)をたてられること
- (9)申込者および同居親族が反社会的勢力に属さないこと

月額家賃

入居者の収入および住宅の諸条件により決定します。

入居可能予定日

3月下旬ごろ

今後の募集予定

次回の町営住宅入居者募集について次のとおり実施する予定です。
第1回 5月11日(月) ～5月29日(金)

※入居者の入退去、住宅の状況等により募集団地の変更等生じる場合があります。戸数・規格・家賃の詳細・最新の情報は、町のホームページをご覧ください。



町ホームページ

◆問い合わせ先 建設計画課 都市計画担当 ☎0748-5216567

「日野町文化財保存活用地域計画」の事業が進んでいます！

日野町文化財保存活用地域計画の開始と推進協議会の設置

令和7年度から始まった日野町文化財保存活用地域計画は、「日野を日野たらしめている歴史文化」を次世代へ継承し、まちづくりに活かしていくための計画です。この計画に基づき、従来の取り組みのほか、本年度は日野祭総合調査事業や日野の「だから」サポーター養成講座などの新規事業を進めています。また、本計画の推進にあたって、取り組みの評価・検証を行うため、日野町文化財保存活用地域計画推進協議会を設置しています。9月には、第1回の会議を開催し、本年度の取り組みや今後の取り組みとその評価・検証の見通しについて協議いただきました。

日野町文化財保存活用地域計画推進協議会委員名簿

※敬称略

井上ひろ美(会長)	文化遺産プランニング代表
外池多津彦(副会長)	日野曳山保存会会長
井上典子	追手門学院大学教授
高井儀浩	日野文化懇談会事務局長
池内明彦	日野観光協会事務局長
森田礼子	日野町商工会会長
藤岡康弘	西大路公民館館長
北村千保	西大路小学校校長
栗田千弦	陶芸家
西河佳子	農家

地域の歴史文化関連団体との協同事業の実施

日野町文化財保存活用地域計画推進イベント 兼第9回日野文化フォーラム

令和4～5年度に日野町内各地区公民館で開催した地域の隠れた文化財Ⅱ「だから」を掘り起こすワークショップの集大成として、令和7～8年度に各地区代表者によるフォーラムを開催します。

【とき】 2月14日(土)13時～16時15分

【ところ】 わたむきホール虹(ふれあいホール)

【内容】

第1部 ふるさとの昔ばなし朗読と童謡披露(13時10分～14時)

第2部 ふるさとの「だから」自慢(14時15分～15時)

第3部 パネルディスカッション「地域の「だから」再発見(15時10分～16時)」
託児所があります。託児を希望される方は、2月12日(水)までにお電話でお問い合わせください。

・展示ギャラリーにて小学生のふるさと学習作品を展示します。

【主催】 日野町教育委員会、日野文化懇談会

◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」
☎0748-5210008

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

八幡神社の巨樹カヤ

八幡神社の境内には、神社のシンボルとして親しまれているカヤの巨樹があります。

カヤは、樹高約30メートルで、胸高周囲(地上1・3メートルで計測した幹周囲)は約4メートルあり、日野町を代表する巨樹の一つであり、県下有数の大木でもあります(『近江日野の歴史』第一巻 自然・古代編)。



八幡神社のカヤ

八幡神社の石造宝篋印塔

字域の南端、集落のほぼ中央の字「宮裏」に八幡神社が鎮座しています。主祭神は、誉田別命で、創祀年代は不詳ですが、社伝によると蒲生雅俊が鎌倉の鶴岡八幡宮を勧請したものとされます(『滋賀県神社誌』)。



八幡神社宝篋印塔

その境内の南隅に、花崗岩製の石造宝篋印塔があります。相輪が欠失しているほかは各部が残っており、現在の高さは91センチメートルですが、元は総高が約150センチメートルの五尺塔として造立されたものであろうと考えられます。基礎に宝瓶三茎蓮と散蓮が刻み出さ

町中の風景



大字里口

大字里口は、必佐地区中央東端の出雲川左岸の低位段丘面に位置しており、北から東で大字上野田、南から西で大字内池と接しています。

字域の南端付近に御代参街道が東西方向に通っており、その沿道に集落が形成されています。また、字域東端の上野田との字界沿いを南北に伸びる道は、字域の北にある大字山本の字「扣山」の共同墓地に向かう道であることから、山本道・そうれん道などと呼ばれています。

中世の当地は、蒲生氏庶流の野口氏の本拠地とされ(『近江蒲生郡志』巻二、応永2(1395)年の田地売券(照光寺文書)という史料に「野口」と記されているように、明治時代以前には野口村と称されていました。

旧村名の野口は、当村の東方に広がる日野谷といわれる一帯が古くは日野牧と呼ばれており、当村がその入口にあたることに由来するとされています(『蒲生旧趾考』巻七)。

◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-52-0008